

***** 佛事の常識・非常識 *****

Q:葬儀の会館で祭壇の真正面を歩くのは不作法ですか？ A:こだわる必要ありません。

この質問も、とあるテレビ番組で紹介されていた葬儀参列のマナーについてです。お通夜やお葬式の際に、出焼香といって参列者が祭壇前に進み、お焼香する場面があります。この時に、祭壇に向かって真正面を一直線に進まずに、正面を避けて右端や左端を進むのがマナーだと教えていました。これは茶道などと混同しているのではないのでしょうか？茶道では、亭主から渡された茶碗の正面を避けて、左右どちらかにずらした後に口をつけています。これは茶碗正面の絵柄を汚さないための配慮という説もあります。配慮や遠慮というのは日本人文化に有形無形に染みついています。座敷の部屋に座る際でも、上座・下座にこだわっていつも上座が空席になります。序列が重要視される場面も当然あるとは思いますが、それをお通夜やお葬式と言った人の死を前にしてまで、その論理を持ち込む必要があるのだろうかと思わずにいられないのです。いくら上下や正面か端っこかにこだわり、世間体を気にしたとて、死の事実を前にしては無意味です。本当に大事なところに目を向けましょう。

***** ハッピープレゼントクイズ *****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。

問:お釈迦様が亡くなった原因は、次の3つのどれでしょうか？

- ①笑い過ぎ
- ②食あたり
- ③老衰



答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。

先月の答え、③の^{うちょうてん}有頂天でした。舞い上がると危険ですよ。お気を付けあそばせ。

***** 坊守の月イチブログ *****

あけましておめでとうございます

年末に子供達が高松に帰って来ました。ばかばかしいほど嬉しいので、この楽しい気持ちをありのままに表現したら、家族全員がドン引きになりました、トホホホ。毎度のことながら、年末年始はハイテンションです。ま、盆と正月くらいは許してよ、ホントに嬉しいんだからさ。あ、お盆は喜んでいる暇は全くありません。

子ども達はみんな少し大人になって、勉強の話はさておき、恋の話題あり、付き合いの忘年会ありと忙しそうです。いつまでも子供じゃないんだね。毎日一緒にいた時は、いつまでご飯作るんだ？と終わりが見えずに苦しい気持ちになったりもしましたが、今は期間限定のお母さん。わずかな時間しか一緒にいられないと思うと、シャカリキに頑張っちゃいます。とはいえ、普段は夫婦+老猫の生活なので、長時間だと若いパワーに押され気味、体力不足を痛感しています。

今年もどうぞよろしくお願ひします。

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡下さい。

徳成寺ホームページ : <http://www.tokujoji.com/>

